

## 平成 23 年度 タイヤ単体騒音対策検討会（第 3 回） 議事要旨

1. 日時 平成 24 年 1 月 27 日（金） 16:00～18:00

2. 場所 くるまプラザ第 2・第 3 会議室

### 3. 出席者

【座長】 金子 成彦（東京大学）

【検討員】 石濱 正男（神奈川工科大学） 坂本 一朗（交通安全環境研究所）

山本 貢平（小林理研究所） 大野 英夫（自工会）

溝上 喜美男（自工会） 門田 邦信（JATMA）

押野 康夫（JARI）

【オブザーバ】 小西 哲（JATMA）

【環境省】 水・大気環境局 鷺坂局長

環境管理技術室 西本室長

高井室長補佐

藤本係長

【事務局】 （財）日本自動車研究所

### 4. 議事（要旨）

#### (1) タイヤ単体騒音対策検討会とりまとめ（報告）

以下の内容について、資料 3-2 に基づき事務局から報告した。

##### ・報告内容

- ① タイヤ単体騒音規制導入の基礎検討（実測調査）
- ② 実現可能なタイヤ単体騒音レベルの検討（ヒアリングに基づく検討）
- ③ タイヤ単体騒音規制による効果予測
- ④ タイヤ単体騒音規制の国内導入（結論）

##### ・結論

四輪車用タイヤを対象としたタイヤ単体騒音規制を国内に導入するものとし、試験法、規制値は国際基準調和を考慮して ECE R117 と同一とする。

以上の報告内容に対し、検討会の了承が得られた。